

平成19年度 三島信用金庫の取り組み方針について

当金庫は、平成18年4月から4年間にわたり、地域密着型金融推進計画を策定し、事業再生・中小企業金融の円滑化、経営力の強化、地域有用者の利便性向上等を中心として地域密着型金融を推進してまいりました。

平成19年度より地域密着型金融の推進が、過去4年間の「緊急時対応」として始まったアクションプログラムという期間的な枠組みから恒久的な枠組みの中での取り組みとなったことから、当金庫では中期経営計画(平成18年度～20年度)の平成19年度業務計画の中へ以下の項目に沿った具体的な取り組みを盛り込みました。

- 「ライフサイクルに応じた取引先企業への支援強化」
- 「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」
- 「地域の情報機器を活用した持続可能な地域経済への貢献」

今後も、「地域のホームドクター」として地域に密着した金融機関をめざしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

中期経営計画の概要について

当金庫では、旧伊豆信用金庫との合併を遂げた平成18年4月に平成20年3月までの2年間の中期経営計画を策定しております。

合併により伊豆地区全域に広がった営業エリアでの「新たな成長への挑戦」を期するため、スローガンを「新しい星をさそおう」、めざす姿は「質さめ、信頼さめ、必要とされる さんしん」と定めました。



地域密着型金融の具体的な取り組みについて

平成19年度業務計画の中へ盛り込んだ具体的な取り組み

1. ライフサイクルに応じた取引先企業への支援強化

- 地域・人脈を生かしたマッチング機能の強化
- 事業継承及びM&Aについての相談対応を行う
- 国、自治体の中小企業施策を活用した創業・新事業支援
- 中小企業再生支援協議会・登録回収債権との連携による企業再生を支援
- 再生ファンド、DGS、DESを活用した企業再生

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 中小企業に適した資金供給方法の徹底
(シングルローンへの活用、コベンタの活用、ABLの検討)
- 自治体や地域再生プロジェクトとの連携

3. 地域の情報環境を活用した持続可能な地域経済への貢献

- ・ 地域社会の青少年に対する金融教育の推進
- ・ 地域おこし、骨づくり等の地域振興策への参画
- ・ 金融団体、外部団体等との連携と専門化推進を活用した経営相談機能の強化



活動事例

4. 具体的な数値目標

項目	数値目標(平成19年度)
外部団体との連携	年間 4回
中小企業新事業層間促進地承認件数	年間 24件
取引先向けセミナー開催回数	年間 3回
職員向けセミナー開催回数	年間 8回
営業所開店指導回数	年間 2回
再生支援取り組み件数	年間 1件